

## 野菜



### 露地スナップ栽培



#### 野菜

山下 伸一

下島営農指導センター  
080-1729-1630

#### 1. 作型

月	7	8	9	10	11	12
露地		○ ○ ←	→			
		播種		収穫		

#### 2. 圃場準備 (kg / 10 a 当たり)

	N	P	K
基肥	20 ~ 25	30 ~ 35	20 ~ 25
追肥	3	3	3
合計	15	20	15

#### 3. 播種

**播種例** 畝幅 120 ~ 135cm  
株間 10cm の1粒、2粒交互に播種し、MKK等で覆土をします。

※降雨直前や、直後には播種は避けま。地温が高すぎると立枯れを起こすため注意しまし。

**地温を下げるマルチ資材** ミラールマルチ、白黒マルチ、敷き藁など。

#### 4. 灌水

生育初期は灌水を控え、強い根張りを促します。灌水チューブを使用する場合は株元を乾燥させるため、生育するにつれ株元から徐々に離していきます。収穫が始まると灌水量を増やしていきます。

#### 5. 整枝・摘花

採光、病虫害防除、樹作りの為10節ぐらいまでの側枝、花を摘み取ります。主枝1本仕立が基本となります。倒伏防止、品質・収量アップの為に必ずネットを張って誘引します。

#### 6. 収穫

莢の膨らみ7分が適期となります。収穫が遅れないようにしまし。

#### 7. その他

- ・樹、莢が凍るため霜には注意してください。
- ・病虫害はうどんこ病、灰色カビ病、ヨトウムシ、タバコガ、ハモグリバエに注意しまし。
- ・目標草勢 花はダブルで大きいもの。莖は鉛筆より太く、葉は肉厚、丸葉で3対葉。芯は大きく横向きのもの。

## 畜産



### 暑熱対策について



#### 畜産

園田 遼海

下島営農指導センター  
080-1795-9380

現在、子牛市場はコロナウイルスの影響を受けて下落し、その影響から少しずつ脱しつつあります。こういった状況の中でこそ、安定した経営に努めることが大切です。そのためにも、受胎率が低下しやすい夏期の暑熱対策が必要になります。

牛は暑熱に弱く、特に子牛はそれが顕著です。繁殖母牛に関しても、暑熱対策がうまく出来ていない場合、生産性、受胎率の低下が起こり得ます。事故や生産性の低下を防ぐために、確実な暑熱対策が必要です。暑熱対策の基本は、牛舎内に余計なものを置かず、清掃をしっかりと行い、換気ときれいな水を確保することです。牛舎の状況を一度確認しておきま。

#### ・和牛にとっての快適環境

和牛には、快適に過ごせるための温度域が存在します。快適温度域を超えて気温が上昇すると、体温の上昇を防ぐため呼吸・発汗が増えるため注意が必要です。

**快適**：15 ~ 25℃ → 体温維持のためのエネルギーが最少限。快適に過ごせる温度。

**熱い**：26 ~ 30℃ → 体温調整できる高温限界。

**苦しい**：30℃以上 → 食欲減退、繁殖障害が起こる。

#### ・対策の為に

気温・湿度を下げ、風を増やして体温調整しやすい環境を作る必要があります。そのためには、以下のことに気を付けま。

##### ① 飲水について

十分な水を飲むことが出来るよう、水道やウォーターカップが詰まっていないか、一頭あたりに適切な配置が出来ているか確認しまし。十分な水の確保は、飼料を良く食べる

ことにもつながりますが、濃厚飼料などが水槽に混入して汚れてしまうと、すぐに水が腐敗します。また、一部屋に複数頭飼養で水槽が一つしかなかったり、水圧が不十分な場合、群れ内での順位が低い牛は飲みたい時に飲めず、ストレスにもつながります。一日に一回は確認するようしまし。

##### ② 換気について

高温の空気を入れ替え、牛の放熱を促すには、換気が効果的です。風通りを良くするために、牛舎の入口や側面を開けた状態にし、扇風機や換気扇を設置しまし。外気を取り込み、常に新鮮な空気を維持できていることが理想です。扇風機などにカバーが付いている場合、そこにほこりやワラ等が詰まって空気の流れが悪くなっていることがあります。定期的な確認が必要です。また、換気扇の向きも重要です。牛床に対して直下であれば、床はよく乾きますが、空気の大きな流れが確保しにくくなります。換気扇による空気の流れを意識して、位置関係を確認しまし。

##### ③ 掃除について

牛舎内の湿度を抑えるためには、掃除などの湿気を減らす工夫が必要です。水槽や給餌槽の掃除、牛床掃除後の石灰散布や、換気扇の風による乾燥が効果的です。

#### ・今後の対策

牛舎の構造や隔離舎、牛同士の感染防止の観点から、暑熱対策の実施が難しい牛舎もありますが、それぞれの飼養管理の中で出来る限り理想に近づけることが大切です。物の配置を変えたり、牛舎の外に水を撒く等、少しの工夫でも対策は可能です。事故や生産性の低下を減らして、より良い経営、飼養管理に努めま。

果樹



# 8月の柑橘園管理



果樹

鶴浜 研二  
上島営農指導センター  
080-1771-4257

中晩柑類においては今後も肥大と減酸を促進するため定期的なかん水を行い、品質の良いみかんを作しましょう。

## 1. 土壌水分管理

○温州みかん…温州では内容充実のため、乾燥ストレスをかけます。今後は無駄な水を入れないようマルチをされていない園では、早急に被覆を行いましょ。また、果実分析の内容を確認し、下の表を参考に水分管理を行って下さい。

### 8月1日時点果実内容目標

品 種	糖 度	生 産 対 応
極早生	8.5~8.9度	少量かん水3t以上/10a 5日間隔
	8.0~8.4度	現状維持
	8.0度未満	乾燥ストレス促進
早 生	8.5~9.4度	少量かん水3t以上/10a 5日間隔
	7.5~8.4度	現状維持
	7.5度未満	乾燥ストレス促進

○中晩柑…中晩柑では今後も肥大を促進させる為、雨が少ない場合は定期的なかん水を行いましょ。夏場の乾燥はコハン症の発生につながる要因の一つです。特に乾燥しやすい園地では注意をし、雨が少ない場合は3~5日おきに10t/10a程度のかん水を行いましょ。

## 2. 仕上げ摘果の実施

全品種8月上旬をメドに仕上げ摘果を行って下さい。

### ○8月1日時点の肥大目安

品種名	目標階級	肥大目安	品種名	目標階級	肥大目安
極早生	M	46 <sup>㍉</sup>	デコボン	2L	47 <sup>㍉</sup>
早生	M	39 <sup>㍉</sup>	河内晩柑	L	59 <sup>㍉</sup>
普通	M	32 <sup>㍉</sup>	パール柑	2L	75 <sup>㍉</sup>
甘夏	2L	57 <sup>㍉</sup>	清見	2L	49 <sup>㍉</sup>

## 3. 病害虫防除

日焼け防止の為サンテ等をされる場合は、事前にミカンハダニ、アザミウマの防除を行って下さい。また、中旬以降カメムシの飛来に注意を行い、発生初期の防除を徹底しましょ。

河内晩柑やパール柑ではさび果の発生を抑制するため、枯れ枝の除去と併せて中旬以降にオキシンドー水和剤80を散布して下さい。

### ○基幹防除

対象品種	対象病害虫	農薬名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数	備 考
温州中晩柑	黒点病	ジマンダイセン水和剤	600倍	温州30日前 中晩柑90日前	4回以内	混用散布
	ミカンサビダニ アザミウマ類	コテツフロアブル	4,000倍	前日まで	2回以内	
河内晩柑 パール柑	黒点病 炭疽病(さび果)	オキシンドー水和剤80	800倍	30日前	温州5回以内 中晩柑3回以内	中旬以降散布

### ○ハダニ・カメムシ・アザミウマ防除

対象品種	対象病害虫	農薬名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数	備 考
温州中晩柑	ハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日まで	1回	発生時
	カメムシ チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日まで	3回以内	サンテ被覆前
	カメムシ アザミウマ類	アドマイヤーフロアブル	3,000倍	14日前まで	3回以内	
	カメムシ チャノキイロアザミウマ	Mr. ジョーカー水和剤	2,000倍	14日前まで	2回以内	多発時散布

## 4. 果皮強化対策

デコボンや清見については、果皮強化対策としてカルシウム剤の定期的な散布を行いましょ。

○ジュシーカル 1,000倍 又は バイカルティ 1,000倍 (3回程度)

